

J R 四国労組ニュース

平成30年7月9日(No25)

発行責任者 / 中濱 斉

編集責任者 / 森安 祐貴

記録的な大雨発生 災害復旧に向けた 組合員の奮闘に敬意を表します

西日本に停滞していた梅雨前線の活動に伴い、各地で記録的な大雨により、河川の氾濫や土砂崩れが発生しました。それにより、7月9日時点で13府県において多数のお亡くなりになられた方や行方不明の方が報告され、甚大な被害となっています。

今回の災害によりお亡くなりになられた方に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた方にお見舞いを申し上げます。

J R 四国管内においては、予讃線本山駅～観音寺駅間の財田川橋りょうが被災したほか、各地で線路への土砂流入や盛土崩壊、ポイントの冠水が発生するなど、多くの線区で長期間の運休が想定されます。

J R 四国労組の組合員安否確認では、本人とそこご家族の安全は確認できましたが、家屋の損壊や浸水など大変な被害が発生しています。被害に遭われた組合員やご家族の皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く元の生活に戻られるようお祈り申し上げます。

あわせて、J R 四国労組組合員が昼夜を問わず災害復旧に向けて奮闘していることに心から敬意を表するとともに、この難局を全力で乗り切るべく、安全第一での作業をお願い申し上げます。

以 上